

キャベツ (アブラナ科)

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
作 型	は種 ×			定植 ○			—			収 穫			【7月どり】育苗期間30~35日											
	は種 ×			定植 ○			—			収 穫			【8月どり】育苗期間25~30日											
	【9月どり】育苗期間25~30日			は種 ×			定植 ○			—			収 穫											
	【10月どり】育苗期間25~30日			は種 ×			定植 ○			—			収 穫											

表 1 主な品種

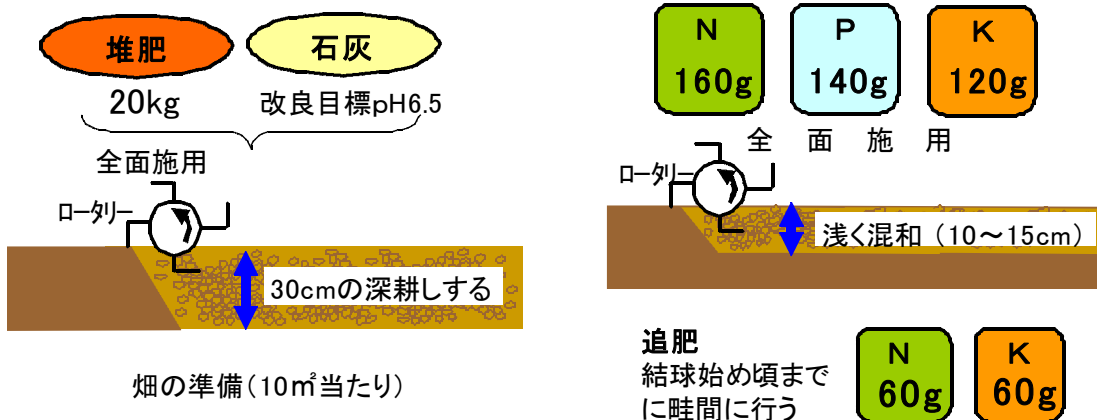
タイプ	品種名	早晩生	球形	一球重 (kg)	草姿	葉色	肉質	甘味	縁腐れの多少
ボール	アーリーボール	早生	丸	1.2	やや立性	やや緑	◎	◎	○
	アーリータイム	極早生	丸	1.1	やや立性	やや緑	◎	◎	○
	プラディボール	極早生	丸	1.1	やや立性	やや緑	◎	◎	—
サワー	藍春ゴールド	早生	丸	1.5	立性	やや緑	◎	◎	○
	北ひかり	早生晩	波葉扁円	1.5	開張	緑	◎	○	○~△
	楽園	早生	波葉扁円	1.3	立性	緑	◎	◎~○	○
	金系201号	早生	波葉扁円	1.5	やや立性	緑	◎	◎~○	○
寒玉	湖月	中生	扁円	1.6	やや立性	緑	◎	◎	—

※◎:良、○やや良、△:やや劣る

1 栽培管理

①畑の準備

- ・定植畑には有機物の施用と深耕を組み合わせるなど、土壌の保水性を高める管理が必要です。
- ・肥料は、窒素・りん酸・カリの他に石灰や苦土、ホウ素等の施用が必要です。



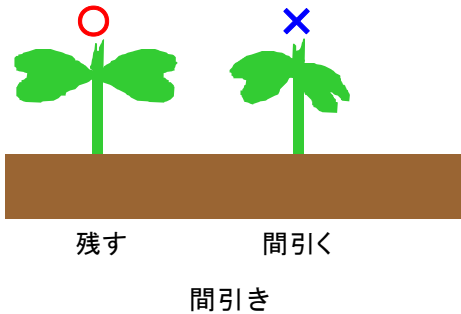
②育苗

健全な苗は球揃いを良くし、収穫作業をとてもしやすくします。このため育苗期間中はキャベツ栽培にとって大切な時期となります。

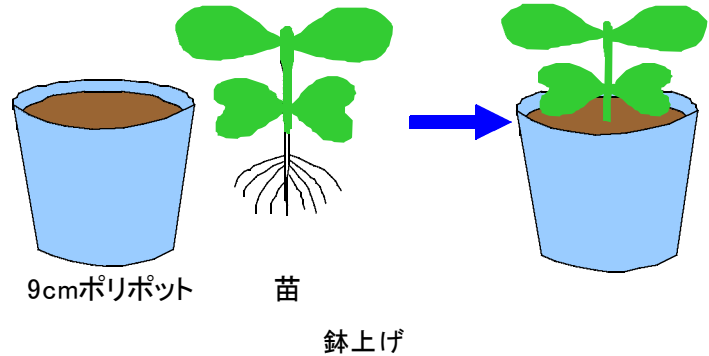
キャベツの育苗温度(°C)

		は種床	育苗中期	育苗後期
気温	昼	20~23	15~20	15~20
	夜	15~18	10~15	8~10

- ・間引きは本葉1~1.5枚で行う
- ・子葉の形が良いものを残す

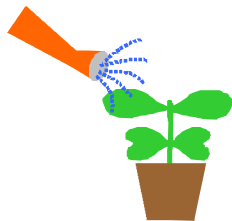


- ・本葉2枚くらいで鉢上げする

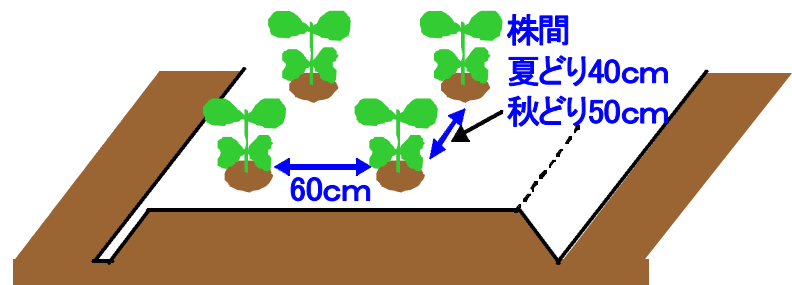


③定植

- ・5月に定植する作型では、地温が低く初期生育が劣るので、定植前にマルチを行い、地温を十分に高めてから定植します。
- ・定植の7日前より外気にならし、苗の馴化を図り、植え傷みのない苗にします。
- ・苗に十分にかん水し定植をします。
- ・栽植密度は畦幅60cm、株間40~50cmを目安に定植します。



定植後のかん水は地温の低下を招くので、定植前日に苗床でたっぷりやっておく。



栽植密度

④管理

病害では、根こぶ病、軟腐病、黒腐病の発生が多く、害虫ではタネバエ、コナガ、ヨトウガ、モンシロチョウが発生します。こまめに観察し早期発見、早期防除に徹します。

根こぶ病対策

アブラナ科の野菜を連作すると、必ず根こぶ病が発生します。土壌酸度がpH6.0以下と排水不良地で多発します。無病土の使用と4年以上の輪作を厳守します。病株が見られたら早めに除去してください。

2 収穫の目安

- ・外葉がめくれて、結球葉が淡緑になって光沢がでてくる時期です。
- ・夏どり（7月下旬~8月中旬）の場合は鮮度保持のため外気温の低い朝方に収穫します。
- ・冬期貯蔵用（寒玉系）では8分結球程度で収穫し、貯蔵します。